

「第5期宮城県食育推進プラン（中間案）」に対する意見提出手続（パブリックコメント）

の結果と御意見・御提言に対する宮城県の考え方

令和8年3月23日

宮城県では、「第5期宮城県食育推進プラン（中間案）」について、令和7年12月18日から令和8年1月19日の間、ホームページ等を通じ県民のみなさまの御意見等を募集しました。

この結果、次の貴重な御意見・御提言をいただきました。

いただきました御意見等につきましては、プラン策定の参考とさせていただきます。御協力ありがとうございました。

No.	箇所	御意見・御提言の内容（要旨）	宮城県の考え方
1	<p>【2頁】</p> <p>1 計画策定の趣旨 （1）食育をめぐる現状 イ 県の現状</p> <p>【20頁】</p> <p>9 重点施策と目標指標 重点施策1の目標 ◇食育に関心を持っている人の割合の増加</p>	<p>体裁に関する御意見 （2ページの上から3行について、文章開始位置がずれている。） （表示位置がもう少し左寄りにすべき。）</p>	<p>御意見の趣旨を踏まえて修正します。</p>
2	<p>【8頁】</p> <p>4 本県の食を取り巻く現状と課題 （3）食に関連する健康上の課題 ◇肥満者の割合</p>	<p>「肥満傾向児の出現率」の全国値をグラフに掲載していない理由はあるか。</p>	<p>県内の経年比較を見やすく表示するため、県内の値に限りグラフを掲載しています。本文に全国値を加筆します。</p>
3	<p>【13頁】</p> <p>5 第4期計画の評価 （2）重点施策ごとの達成状況並びに課題及び対策 ア重点施策1 食育を通じた健康づくり （ア）達成状況</p>	<p>「栄養成分表示を参考にしている人の割合」は達成状況が悪化傾向のDだが、「目標に至らない」の言い回しにした理由があるか。</p>	<p>御意見の趣旨を踏まえて「悪化しました」に修正します。</p>
4	<p>【20頁】</p> <p>9 重点施策と目標指標 重点施策1 食育を通じた健康づくり Plan2 健全な食生活の実現 3 給食を通じた食育の推進</p> <p>【23頁】</p> <p>重点事項2「食料王国みやぎ」の理解と継承 Plan3 農林漁業への理解と地産地</p>	<p>学校給食の内容の充実に力を入れるべきである。 （食文化や郷土料理の伝承（ご飯と味噌汁を基本とする食事）、栄養バランスの数字だけではない心が満足する給食、時間的にも余裕のある給食、自校給食、2校分を作るなどの小規模な施設で地産地消、顔の見える食材を使う等。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県食育推進プランでは、「給食を通じた食育の推進」として、学校等において食に関する指導体制の整備を進めること、給食を生きた教材として活用し、仲間と食べる楽しさの実感が得られるようにすることなどを進めています。 第5期食育推進プランでも「給食等における県産食材の利用促進」や「給食等における郷土料理や伝統的な食文化の紹介」の取組を引き続き進めてまいります。

	<p>消の推進 3 給食等における県産食材の利用推進 【24頁】 Plan4 食文化の継承 2 給食等における郷土料理や伝統的な食文化の紹介</p>		
5	<p>【24頁】 9 重点施策と目標指標 重点施策2「食材王国みやぎ」の理解と継承 ◇学校給食の地場産農林水産畜産物の利用品目数の割合の増加 ◇宮城県産の食材を使用した郷土料理を年10回以上提供している学校給食施設の割合の増加</p>	<p>第4期プランで目標値を達成している「学校給食の地場産農林水産畜産物の利用品目数の割合の増加」と「宮城県産の食材を使用した郷土料理を年10回以上提供している学校給食施設の割合の増加」は、目標項目として「維持」ではなく「増加」とした理由はあるか。</p>	<p>「学校給食の地場産農林水産畜産物の利用品目数の割合」は目標値を40%から48%に上方修正します。 「宮城県産の食材を使用した郷土料理を年10回以上提供している学校給食施設の割合」は目標値95%から100%に上方修正します。</p>
6	<p>【27頁】 9 重点施策と目標指標 重点施策4 食育を実践しやすい環境づくり 【28頁】 Plan8 食育を実践しやすい環境づくり</p>	<p>重点施策4 食育を実践しやすい環境づくりで「みやボ」との積極的な連携が作れると良い。例えば、スーパーのベジプラスコナーで買い物をするとみやボ10%が還元されるなどの取組ができれば、飛躍的に認知度が高まるのではないか。</p>	<p>「みやボ」（みやぎポイント）の活用について検討します。</p>
7	<p>【40頁】 10 ライフステージに応じた食育の取組 ライフステージ別 県の主な取組</p>	<p>④基本的な生活習慣確立の推進で、子どもの生活リズムの向上を図る項目で、対象ステージが「若い世代」「働き盛り」「高齢期」のすべてとしている理由はあるか。</p>	<p>子育てには親だけでなく、祖父母も含めた全世代で関わることが必要であると考えています。</p>
8	<p>【46頁】 12 食育の推進体制と関係者の役割 ＜食育推進のイメージ＞</p>	<p>県民（家庭）と連携・協働・支援を行う関係機関は、関係機関が県民（家庭）を取り囲むイメージでよいか。また、県民（家庭）が関係機関から情報を得たり、積極的に自身で情報を取りに行ったりという矢印は設定せず、「連携・協働・支援」という文言で示しているイメージでよいか。</p>	<p>御理解のとおりです。</p>